

導入可能性調査の内容（案）について

1 趣旨

- 小水力発電について、上下水道施設、温泉施設、小河川など「水」の種類ごとに、既存資料を活用した文献調査やアンケート調査等によって、賦存量及び導入に適した箇所を明示する。

2 対象エリア

- 調査対象は県下全域とする。

3 調査内容

- 「水」の種類（上下水道、温泉水、工業用水〔施設内循環水〕、中小河川、農業用水、湧水等）ごとに、地域特性にも配慮しながら、下記事項について調査する。
 - ・水路の状況（地形、落差、水路の幅、流量など）
 - ・水利権の状況
 - ・発電した電力の使用先（見込み）
 - ・発電予測量
 - ・その他、「水」の種類によって調査が必要な事項

4 調査の方法

- 調査会社への委託とする。
調査実施方法については、プロポーザルにより提案を受けるものとする。